

41 期生 (2 年生) の M さんが、文部科学省が行っている留学促進キャンペーン「トビタテ！留学 JAPAN 高校生プログラム」の第 10 期派遣留学生に採用されました。応募総数 919 名中 281 名採用 (マイ探究コース) の狭き門をくぐりぬげ、返済不要の奨学金の支給を受けて 2025 年 8 月中旬～下旬にアメリカ合衆国・ロサンゼルスへ留学しました。留学で経験できたこと、感じたこと、留学の魅力などについてまとめてもらいました。

留学報告書 ～ロサンゼルスでの学びと成長～

1. はじめに

私は文部科学省が主催する「トビタテ！留学 JAPAN」という奨学金制度を利用して、2025 年 8 月 4 日 (月)～8 月 22 日 (金) の約 3 週間、アメリカ合衆国のロサンゼルスへ留学しました。その中で経験できたことや感じたことなどをまとめたので、読んでくださると嬉しいです！

2. 留学で体験できたこと

(1) 語学学校での勉強

私は午前中だけ授業が行われる 10 人ほどのクラスに入って勉強していました。授業では英語の文法を英語で教わったり、授業のはじめに昨日は何をしたかを英語で説明したりしました。

クラスメイトには日本人の方もいましたが、コロンビア、ブラジル、台湾の方々もいました。世界各地のリアルな生活や文化を知ることができたので、クラスメイトとお話するのが毎日楽しみでした。

(2) ホームステイ先にて

アニメが好きというホストマザーのお孫さんにご孫さんに日本から持参した浴衣を着ていただきました。着付けは私が行い、着付け終わって全身鏡で確認してもらったと本人は「アニメで見たやつだ！」と喜んでくれました。ご家族にも見せるとみんな口を揃えて「似合っている」、「かわいい」とおっしゃっていました。ただ浴衣を着てもらっただけでなく、日本文化を通じてホストファミリーのご家族との距離が縮まったと感じました。

(3) 探究活動について

「トビタテ！留学 JAPAN」は自分で探究テーマを設定して、留学先で調査を行うという点に特徴があります。

私はアニメが好きで声優の仕事にも関心があるのですが、近年は音声合成技術の発展により声優の仕事が生成 AI に奪われるリスクが問題化しています。一方で、生成 AI がなくてはならない世の中になっていることも事実です。そこで、どうすれば生成 AI と人間社会が上手に付き合っていくことができるのかというテーマを設定し、生成 AI 産業が特に発展しているアメリカ合衆国で声優の方々などへのインタビュー調査を行うことにしました。

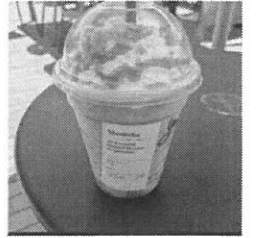
インタビュー調査では生成 AI に対しては否定的な考えを持つ人のほうが多い結果となりました。この結果から、私は声優の権利を守りつつ生成 AI と人間が上手に付き合っていくためには、法律をきちんと整備することが大切であることを感じました。

また、応募書類の作成には非常に時間がかかりました。探究活動計画については詳細に書かなければならず、また、自己 PR の「一枚の紙にあなたのアピールポイントを表現してください」というテーマで何を書いたらよいのか非常に悩んだことなどもありました。自己 PR では私自身が得意な絵を描いて提出しましたが、おそらくこれに一番時間を割いたと思います。

探究活動では声優の方々へのインタビュー調査が大変でした。事前にインタビュー調査のアポイントメントを取るために何度もメールを送ったこと、インタビュー調査でうまくコミュニケーションがとれなかったことなどもありました。しかし、どうにかして調査を前に進めるためにも、その場その場で臨機応変に対応する力がついたと思います。

(4) うれしかったこと

アメリカで初めてスターバックスへ行った時のことで、アメリカのスターバックスではカップに名前を書いてもらえるサービスがあり、最初はなかなか伝わらずにうまくいかなかったのですが、3 回目ぐらいでようやくちゃんと伝わって初めて成功したことはとてもうれしかったです！



3. 留学を通して感じたこと

(1) 留学で大事なこと

留学で一番知って欲しいことは、「英語が完璧じゃなくても大丈夫」ということです。言葉で伝えられなくても、表情や動きで何とか伝えようすることで大抵のことはなんとかなります！そして、「1 人で知らない土地で過ごすことができた」ということは自分自身にとって大きな自信になりました。

(2) 留学がくれた変化

留学は私自身に大きな変化を 3 つ与えてくれました。

① 英語に自信がついたこと

② 積極性について今までできなかったことができたこと

③ 新しいこと＝楽しいことだと感じられたこと

私はもともと引っ込み思案で新たなことに挑戦することを怖がる性格でしたが、留学後は英語のスピーチコンテストや助っ人として演劇部のキャストを務めたりするなど、以前の自分であれば絶対にできなかったようなことにも、留学後には前向きな気持ちで失敗を恐れずに楽しんでチャレンジすることができるようになり、それによって自分自身の視野も広がったと思います。

もちろん、これは自分一人の力だけで成し得たわけではなく、多くの方々の支えがあったことは言うまでもありませんが、自分自身の行動や考え方に大きな変化を与えてくれる経験ができたことは留学の価値の一つであると思っています。

4. おわりに

ここまで読んでくださって少しでも留学に興味を持っていただけたらうれしいです。とはいえ、「留学ってお金かかるでしょ？」と考える人も多いと思いますが、奨学金制度を利用することも一つの方法です。

留学を支援する奨学金はたくさんありますが、その中でも「トビタテ！留学 JAPAN」は返済不要の奨学金で、さらにこの奨学金を利用して留学する高校生のコミュニティも充実していて、その中で情報交換をしたり、刺激を受けたり、共感しあったりすることもできるので、「トビタテ！留学 JAPAN」はとても良い制度だと思います。

少しでも「留学してみたい」、「日本を飛び出して何かに挑戦してみたい」と感じたら、是非「トビタテ！留学 JAPAN」に応募してみてください！

また、大学生対象の「トビタテ！留学 JAPAN」もありますので、3 年生の皆様も留学に興味を持たれた方は是非「トビタテ！留学 JAPAN」のホームページをのぞいてみてください。

※本報告書は「トビタテ！留学 JAPAN 高校生プログラム」のエヴァンジェリスト活動として作成したものである。